

燃える神戸っ子



明けましておめでとうございます

新しい年、2021年（令和3年）丑（うし）年を迎えました。保護者の皆様、どんな新年を迎えられましたでしょうか。コロナ禍にある今年はいつもとかなり違ったお正月となったことでしょう。

神戸小学校では、職員一同新たな気持ちで頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお祈りします。

今年度も残すところあと3か月となりましたが、3月の学年末には一人一人が成長した姿を実感できるよう、職員一同で子どもたちを励ましていきます。今後もご支援ご協力をお願いします。



1月5日、朝礼での校長先生の言葉を紹介します。

今日は新年の始まりにあたって、みなさんにある人が小学校六年生の時に書いた作文を紹介したいと思います。誰が書いた作文か当ててください。

「僕の夢。僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学・高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようにするために練習が必要です。ぼくは三歳の時から練習を始めています。三歳から七歳までは半年くらいやっています。だから一週間のうち友達と遊べる時間は五、六時間です。そんな激しい練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。」

そして、その球団は中日ドラゴンズか西武ライオンズです。ドラフト一位で、契約金は一億円以上が目標です。

自信があるのは、投手か打撃です。去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そしてほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会ナンバー1選手と確信でき、打撃では県大会四試合のうち、ホームランを三本打ちました。大会全体を通した打率は五割八分三厘でした。自分でも納得のいく成績でした。さらに僕たちは一年間負け知らずのまま野球ができました。

だからこれからも、この調子で頑張ります。そして僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらおうのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢はプロ野球選手になることです。」

さあ、誰が書いた作文でしょうか。分かった人はいますか？

そうですね。これは野球選手として日本・アメリカの大リーグで大活躍した日本人、イチローさんが書いた作文です。このイチローさんの作文を紹介したのは、いくつか理由があります。

一つ目は、みなさんにぜひ将来の夢を持って欲しい、ということを書いたからです。どんな夢でも構いません。将来の夢を持つことは、それだけでとても素晴らしいことです。

二つ目に言いたかったのは、イチローさんのように、夢を実現するために日々努力してほしい、ということです。イチローさんの凄まじいところは、ただ『野球選手になりたい』と思うだけでなく、どんな野球選手になりたいか、将来の理想的な自分の姿を具体的にイメージしているところなんです。小学校六年生のイチロー君は「君は言います。『僕は一億円を稼ぐことができる野球選手になりたい。ドラフト一位で中日ドラゴンズか西武ライオンズに入団したい。お世話になった人に招待券を配って応援してもらいたい』と。」

そして、続けてその実現のために何をしなければならぬかを考えています。小学校六年生のイチロー君曰く「そのためには、中学校・高校で活躍しなければならぬ。だから今友達と遊ぶ時間を削ってでも練習しなければならぬ」と。イチローさんは、すでに小学生の頃から夢を実現するために努力が必要だ、ということに気付いています。

みなさんも承知の通り、一日は誰にとっても二十四時間しかありません。それをどう使うかは皆さん次第です。イチローさんの作文は「絶対に夢を叶える」という強い意志を持って毎日コツコツと努力することの大切さを教えてくれます。

さあ、令和三年が始まりました。新しい年の始まりです。みなさん、ぜひイチローさんのように、なるべく具体的に、将来の自分をイメージしてみましょう。そして夢の実現のために、今何をしなければならぬか考えましょう。

校長先生をはじめ、先生方も全員、皆さんが目標を達成できるように、そして少しでも将来の夢に近づけるように応援したいと思います。みなさんも先生方の期待に応えることができるように日々努力してほしいと思います。

今年一年が素晴らしい年になるように、将来の夢が叶うように、みんな頑張らしましょう。

今年一年が素晴らしい年になるように、将来の夢が叶うように、みんな頑張らしましょう。

低学年の子どもたちには少し難しい内容かと思いましたが、「夢」を持つ大切さに気づいてほしくて話をさせていただきました。各ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。